令和９年度岡山県地域職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

資料６

令和８年度計画の実施方針と取組状況

令和８年度実施計画（実施方針）

課題	実施方針
①応募倍率が低く、 就職率が高い分野がある。 「デジタル分野」 「介護・医療・福祉分野」 「製造分野」	・訓練見学会等への参加促進に向けた積極的な働きかけ ・訓練コースの内容や訓練効果を踏まえた受講勧奨の強化 ・特に委託訓練における開講時期の柔軟化、受講申込み締切日から受講開始日までの期間短縮及び効果的な周知・広報の実施
②応募倍率が高く、 就職率が低い分野がある。 「営業・販売・事務分野」	・求人ニーズに即した訓練内容の検討 ・ハローワーク窓口職員の知識向上 ・事前説明会や見学会の機会確保 ・訓練修了者歓迎求人等の確保 ・事業主に対する訓練効果の周知
③求職者支援訓練のうち基礎コースについて計画と実績が乖離している。	・就労経験が少ない者等の就職困難者に対しては、社会人としての基礎的能力を付与する基礎コースが有効。
④デジタル人材が質・量とも不足、都市圏偏在がある。	・デジタル分野への重点化 ・一層のコース設定の促進
⑤協議会で情報提供された人材ニーズ	・旅行・観光分野の訓練コース設定について検討。

令和８年度取組状況

- ハローワーク窓口において、自ら訓練受講を希望する求職者だけでなく、訓練受講が必要と判断した求職者に対し、マイページや郵送等による積極的な働きかけを実施。
- ワーキンググループにおいて、訓練効果の把握・検証等を実施。（介護・医療・福祉分野）
- 訓練部門と求人部門との情報共有による求人開拓や、求人充足会議等を通じた訓練修了者歓迎求人等の確保
- 事業所に対する訓練修了者の採用促進チラシの送付
- 実態を踏まえた基礎コース設定の推進
- 委託訓練及び求職者支援訓練について、訓練分野の特性を踏まえたデジタルリテラシー及び情報セキュリティリテラシーの向上促進
- 訓練ニーズを踏まえた設定を促進

令和９年度岡山県地域職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

令和９年度の公的職業訓練の実施方針（案）

○岡山県と連携し、示された必要人材や「地域産業クラスター計画」等を踏まえ、地域の産業界等が必要とする人材の育成に資する職業訓練（在職者訓練を含む。）について検討する。

応募倍率が低く、就職率が高い分野

介護・医療・福祉分野
製造分野

・介護・医療・福祉分野、製造分野：
応募倍率は低下、就職率は向上。

応募倍率	応募倍率が低下しており、上昇に向け、引き続き改善の余地がある。
就職率	全体平均を超えており、高水準で推移。

令和８年度計画に引き続き、訓練コースの内容や効果を踏まえた**受講勧奨の強化**が必要。また、介護分野においては、**WGの方向性を踏まえた受講者確保**に努める。

応募倍率が高く、就職率が低い分野

デジタル分野
営業・販売・事務分野

・デジタル分野：応募倍率は向上、就職率は低下。
・営業・販売・事務分野：応募倍率は同水準、就職率は向上。

応募倍率	100%を超えており、高水準で推移。
就職率	デジタル分野は就職率が低下しており、上昇に向け、引き続き改善の余地がある。

令和８年度計画に引き続き、求人ニーズに即した**効果的な訓練内容であるかどうかの検討**を行う。
令和８年度計画に引き続き、就職率向上のため、**受講希望者のニーズに沿った適切な訓練を勧奨**できるよう、ハローワーク訓練窓口職員の知識の向上や事前説明会・見学会の機会確保を図る。また、**訓練修了者の就職機会の拡大**に資するよう、訓練修了者歓迎求人等の確保を図る。さらに、人材ニーズ等調査を踏まえ、事業主等に対しては、習得することができるスキル等の**訓練効果を広く周知**する。

求職者支援訓練のうち基礎コースについて**計画と実績に乖離あり**。
令和７年度も同様の傾向。

就労経験が少ない者等の就職困難者には、社会人としての基礎的能力を付与する基礎コースが有効。このため令和８年度計画に引き続き基礎コースの設定を推進するとともに実態を踏まえた計画が必要。

デジタル人材が**質・量とも不足**、**都市圏偏在**が課題。

引き続き、**デジタル分野への重点化**を進めるとともに、**訓練ニーズを踏まえたカリキュラムの設定について検討**する。